

活 動 趣 意 書

地球温暖化による気候変動は、異常気象による災害や生態系の変化など、地球規模で大きな影響を及ぼしています。今後、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出が続けば、猛暑や巨大台風などによる風水害の発生が増加が懸念されることから、全ての人が現状を認識し、主体的に地球温暖化対策を行うことが重要となっています。

国連サミットで採択されたSDGs（Sustainable Development Goals）では、誰一人として取り残さない包摂性のある社会をつくることが求められています。またCOP21で採択されたパリ協定、IPCCの特別報告書、国・大阪府の動向など、世界・国・大阪府において、2050年までに脱炭素社会をめざす動きが加速しつつあります。

八尾市では、2005年、市民の声をきっかけに、子どもたちにきれいな空気を残すため、「黒煙ゼロ」をスローガンに市民・企業・行政が三位一体となって、グリーン配送・環境に配慮した交通・エコカーの普及に取り組んできた歴史があります。

これらを受けて、2021年4月1日、八尾市地球温暖化対策実行計画に掲げる「一人ひとりが地球温暖化対策に取り組んでいるまち」の実現に向けて、共創と共生の地域づくりの考え方を踏まえ、多様な主体が連携し、環境・経済・社会における地球温暖化の課題を主体的に解決し、2050年度までに二酸化炭素排出量実質ゼロをめざす「ゼロカーボンシティやお」を宣言しました。

「ゼロカーボンシティやお推進協議会」は、2050年のこどもたちの未来が持続可能な社会となるよう、八尾市の呼びかけに応じた市民（消費者）・企業・金融機関・行政など多様な立場の関係者が誰一人取り残されることなく、八尾市域における脱炭素型まちづくりの実現に向けた環境活動・地域貢献・事業活動等のあり方について、持続可能な事業の情報共有・調査・研究・実践・支援を行うためのパートナーシップ・ネットワークを育む場として、関係団体のご理解・ご協力を賜りながら、発足いたします。

【ゼロカーボンシティやお推進協議会の活動理念】

- I. 脱炭素型まちづくりの実現に向けた取組の情報共有・調査・研究等を行う。
- II. 多様な立場の関係者の連携で「ゼロカーボンシティやお」をめざし、共創と共生の地域づくりの考え方を踏まえ、具体的な気候変動への対策を実践または支援する。
- III. こどもたちの未来のため、多様な立場の関係者と連携し、誰一人取り残されることのない持続可能な社会をめざすことを広く共有する。
- IV. I～IIIに関連する事業において、SDGsを推進する。

上記を理念とし、市民（消費者）・企業・金融機関・行政等のパートナーシップに基づく活動を八尾市域で持続可能な事業として展開するための“プラットフォーム（異なる個人・団体・企業・組織をつなぎあう基盤）”としての役割を果たしながら、本趣旨に賛同いただける多様な主体に広く呼びかけます。

2021年9月22日

ゼロカーボンシティやお推進協議会 発起人

八尾市長 大松 桂右

八尾商工会議所 会頭 山口 孝満

八尾市女性団体連合会 会長 角田 禮子